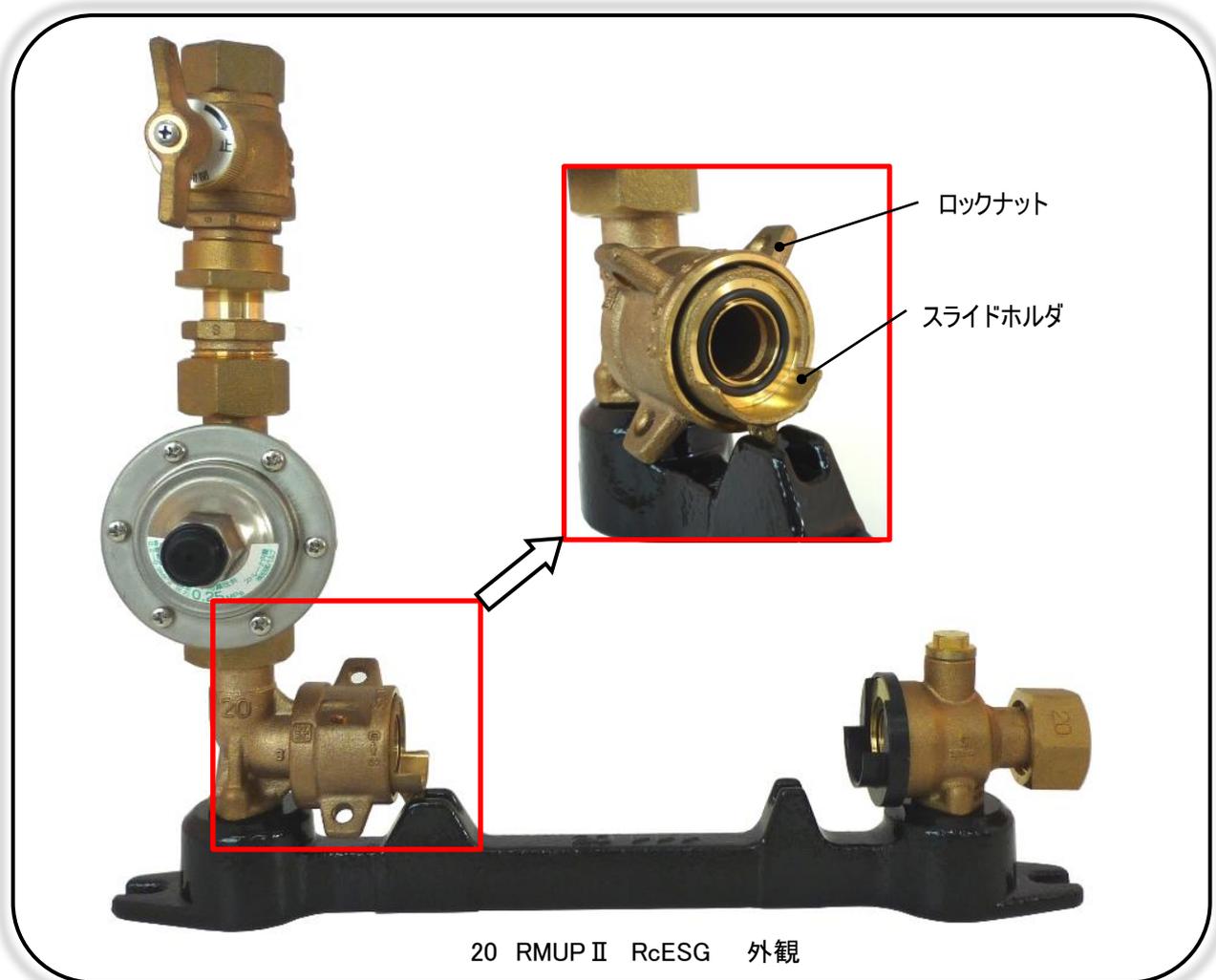


メータユニット スライドホルダ オリング交換手順 A

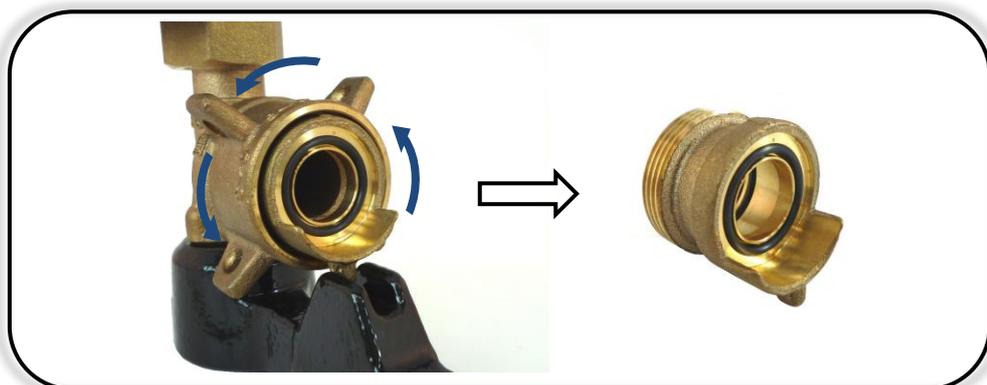
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 RMUP II RcESG」で行っていますが、RMUP、SMUP、SMUP IIも同様の手順で交換できます。

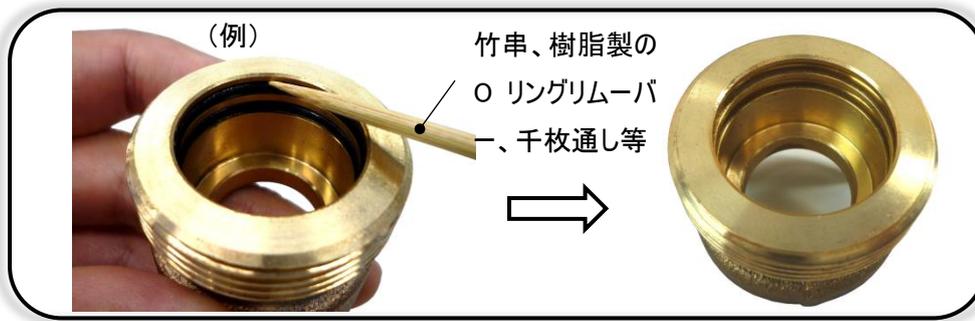


交換手順

1. ロックナットを矢印の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。

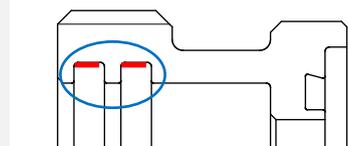


2. スライドホルダを手に取り、先端が尖っているものを用いて O リングを外す。



(注) 装着されている O リングは **1 本** の場合もあります。

(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中
○印内の**赤太線面**に傷がつかないように注意する。

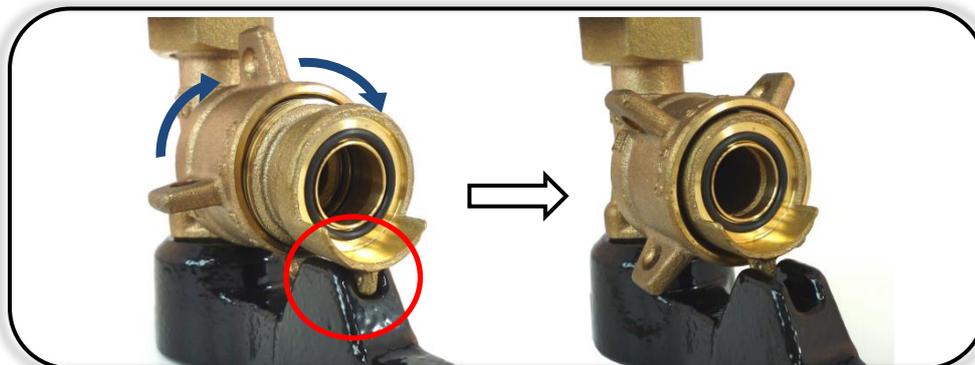


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜 (綿棒、ウエス等) 拭き取ってください。

3. 新しい O リングにシリコングリス (信越化学工業 (株) 製 KS-65A 相当) を塗り、O リングの先端を O リング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



4. スライドホルダを手で持ち、凸部をベースの凹部に入れて (○印)、ロックナットを**矢印**のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。

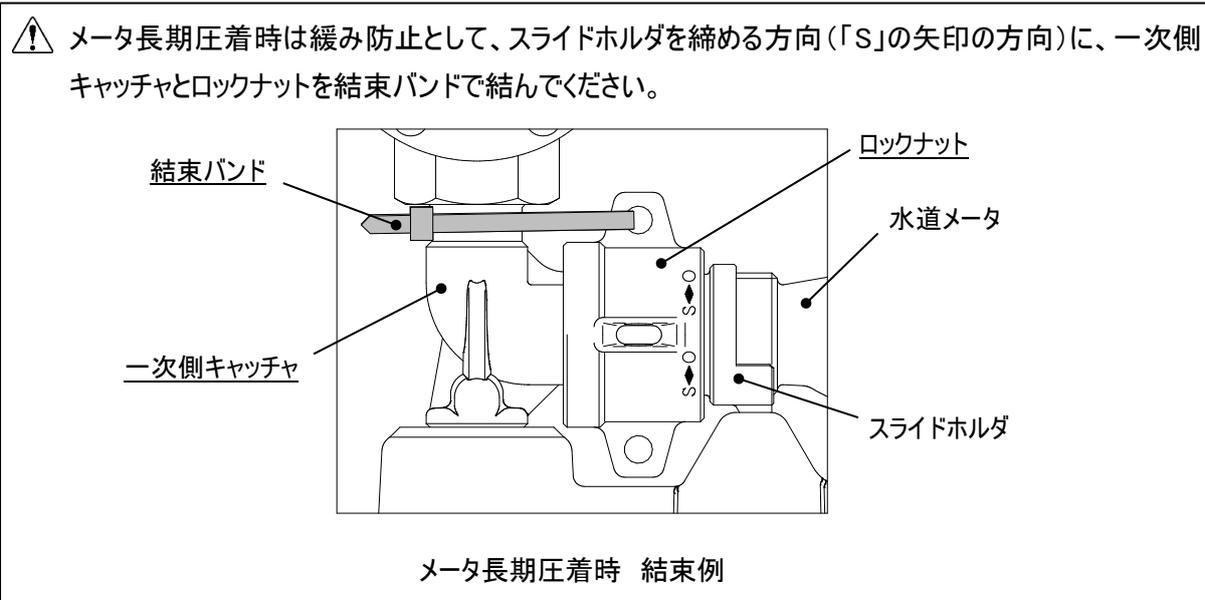


(注) RMUP、SMUP の場合は、スライドホルダにある目印 (○印) を下に向け、
ロックナット内にある回り止めを探りながらロックナットを回し、スライドホルダ
を後退させる。

目印を下に向ける。



型式	受け口仕様	呼び径	スライドホルダ目安締付トルク N・m
RMUP SMUP	パッキン	13	7.5
		20	9.5
		25	10
	Oリング	13	9.0
		20	13
		25	10
RMUP2 SMUP2	パッキン	13	9.0
		20	12
		25	10
	Oリング	13	10
		20	13
		25	10



※スライド部 O リングの交換時期は、メータユニット設置後 10 年 を超えた初回のメータ交換時を推奨します